

高山市における教育環境整備の現状 (ハード:施設関係)

資料③

八次総		高山市教育振興基本計画				現 状	
分野	基本的方向	基本施策	施策内容			取組状況	概 況
1 学校教育	1 学び得た「生きる力」がやさしさのある社会の礎となる教育をめざします	4 学びのセーフティネット	1 教育環境の整備	① 安全、環境、バリアフリー、木材使用などに配慮した校舎などの計画的な改修を行います。	・施設躯体の耐震補強を全校実施済 ・校舎大規模改修を計画的に実施(H27 国府小学校、松倉中学校)	<ul style="list-style-type: none"> 耐震化 校舎、屋内運動場躯体 耐震化率 100% 経過年数 小中学校 31校 建築・改修後 40年～ 経過 12校 31～40年 " 10校 21～30年 " 2校 11～20年 " 2校 ～10年 " 5校 	
				② 児童生徒が安心して学校生活を送れるよう学校施設の維持、修繕を行います。	・学校施設を定期的に点検し老朽箇所の維持、修繕を実施 ・空調対策として各教室、職員室等に扇風機を設置		
				③ トイレの改修、昇降口の段差解消などの児童生徒の状況に応じたバリアフリー化を行います。	・校舎大規模改修を計画的に実施 ・衛生環境改善のため学校トイレ洋式化工事を実施(H27)		
				④ スクールバスを計画的に更新し、安全性・快適性の向上を図るとともに、バスの適正な維持修繕と安全な運行を行います。	・スクールバスを計画的に毎年2台更新(H27 2台更新、H28 2台更新) ・新規嘱託職員採用(H27 5名、H28 5名)		・スクールバス 28台(大型:5台、中型:12台、小型:11台) ・運転手 嘱託等職員27名(雇用期間 最長5年間)
				⑤ 教員住宅の適正配置、有効活用を検討します。	・利用実態にあわせ特定公共賃貸住宅の一部を教員住宅とし適正配置		・教員住宅 3施設(荘川、上宝、奥飛騨温泉郷)
				⑥ 老朽化した給食センターについて、衛生管理体制の強化による安全性の向上や地元産食材の利用を推進できるよう改築を行います。	・既存施設の有効活用と改修を計画的に実施 ・高山センターの改築検討		・経過年数 市内6センター 建築・改修後 31～40年経過 高山・久々野 21～30年 " 清見・一之宮 11～20年 " 古国 ～10年 " 本郷
			2 子どもの安全の確保	① 中学生の安全で安心な通学環境を保持するため、通学路照明灯の新設や維持修繕を行います。	・通学路照明を計画的に改修しており、H27既設蛍光灯のLED化(161基)と通学路照明灯新設(6基)を実施	<ul style="list-style-type: none"> 通学路照明灯 533基 (LED化率 H26 24%→H27 53%) 屋外運動器具等 524基 	
				② 学校に設置している遊具についての安全点検を定期的に行います。	・屋外運動器具の定期点検委託と修繕により安全を確保		
				③ 道路管理者や警察などの関係機関、学校職員やPTAと連携した通学路安全推進会議において、通学路の危険箇所合同点検や安全対策を行います。	・通学路安全推進会議合同点検による危険箇所を把握し、対策に向けた取り組み実施		
			2 生涯学習	2 市民の自発的な学びや、家庭や地域を大切にす意識が、豊かで活力あるまちづくりに活かされる社会をめざします	1 学習機会の充実	5 生涯学習施設の整備と利用促進	① 公民館登録団体の活動支援や施設のバリアフリー化などをすすめ、施設の有効利用を図ります。
② 高山市生涯学習施設運営審議会での審議を踏まえ、適正な施設運営を行います。	・生涯学習施設運営審議会において公民館登録団体の認可 ・登録団体が本来の目的で館を使用する場合、使用料の10分の5に相当する額を免除						
③ 生涯学習施設の老朽化や利用状況を勘案し、計画的な修繕・改修の実施と施設の統廃合を検討します。	・建築基準法定期報告及び公共施設長寿命化計画等に基づく施設整備の実施 ・高山市図書館「煥章館」空調設備等の改修(H27) ・新宮公民館トイレ等修繕、岩滝公民館屋根修繕、燦燦朝日館移動席修繕(H27)						
④ 指定管理者と連携し、民間活力を活かした効果的で効率的な施設運営をすすめます。	・国府文化ホールの管理運営を指定管理に移行(H27)						

八次総		高山市教育振興基本計画				現 状			
分野	基本的方向	基本施策	施策内容			取組状況	概 況		
3 スポーツ	3	市民が様々な形で日常的にスポーツに親しみ、心身ともに健康やかに暮らすことができる社会をめざします	2	スポーツ施設の整備	1	スポーツ施設の整備と利用促進	① 誰もが、安全・安心にスポーツ施設を利用できるよう、計画的な整備をすすめ、その充実を図ります。	・飛騨高山ビッグアリーナ駐車場整備工事(H27) ・維持修繕の実施	・社会体育施設64施設 (指定管理 55施設、直営 9施設)
							② 施設予約管理システムを拡充し、施設利用の利便性の向上を図ります。	・システムによりスケジュールを調整 ・市内体育施設と夜間照明のシステム導入	・予約受付 高山地域・施設予約管理システムを使用し予約 支所地域・紙ベースで予約
							③ 平日利用や合宿、大会誘致などを促進するとともに、スポーツに関する情報提供などによりスポーツ施設の利用を促進します。	・飛騨高山ビッグアリーナ、久々野体育館、荘川体育館、丹生川グラウンドなどへの合宿誘致 ・高齢者への施設誘致	・27年度合宿件数 飛騨高山ビッグアリーナ 4件 中山公園陸上競技場 19件 中山公園野球場 2件 大八グラウンド 1件 久々野体育館 6件 荘川グラウンド 1件 丹生川体育館 1件 丹生川グラウンド 6件
							④ 指定管理者と連携し、民間活力を活かした効果的で効率的な施設運営をすすめます。	・11指定管理者と連携のうえ実施	・指定管理者 11、指定管理施設 55施設
4 文化芸術	5	日常的に文化芸術にふれることで心豊かに暮らすことができ、市民が主体的にまた主体的に新たな文化芸術を創造する社会をめざします	3	高地トレーニングエリアの整備	1	高地トレーニング施設の整備と機能強化	① 様々な競技種目に対応できる施設の整備をすすめ、国内外のトップアスリートの受け入れを行います。	・日和田ハイランド陸上競技場の6レーン化工事(H26～H27) ・日和田ハイランド陸上競技場トイレ建設工事(H27)	・日和田ハイランド陸上競技場 ・飛騨日和田体育館 ・高根総合グラウンド ・飛騨高山御嶽トレーニングセンター の施設管理
							② 使用されていない公共施設や民間建物の活用により、文化芸術活動を促進します。	・旧秋神小学校を活用し、芸術家滞在交流事業(アーティストインレジデンス)を実施	・27年度芸術家滞在 2名(ドイツ出身) 13日間 ワークショップ参加者人数 127名
5 歴史文化	4	誇りを持って語る事ができるふるさと「飛騨高山」をめざします	1	文化財などの保存・継承	1	文化財の保存・修理	① 国指定有形民俗文化財の高山祭屋台及び屋台蔵を後世に遺していくため、修理計画に基づき修理を行います。	・高山祭屋台23台の修理を、全体計画に基づき修理が必要なものから順次実施 【事業費内訳】 国補助 50% 市負担 40% 地元負担 10%	・屋台・屋台蔵修理件数 対象件数 23件 25年度 7件 事業費:37,873千円 26年度 5件 事業費:35,909千円 27年度 5件 事業費:36,666千円 28年度 3件(予定) 事業費:39,850千円
							② 国、県、市指定文化財について、民間所有文化財の修理補助及び市有文化財の修理を計画的に進めます。	・実施計画に基づき、国、県、市指定文化財の修理等を計画的に実施 ・民間所有文化財の修理等への助成 【補助率】 国指定 国 80% 県 4% 市 8% 所有者 8% 県指定 県 50% 市 25% 所有者 25% 市指定 市 1/2以内(上限7,500千円) 活用協定有の場合 2/3以内(上限10,000千円)	・補助件数 25年度 4件 事業費:17,248千円 26年度 6件 事業費:18,744千円 27年度 7件 事業費:20,562千円 28年度 7件(予定) 事業費:12,000千円 対象件数:939件

八次総	高山市教育振興基本計画				現 状		
分野	基本的方向	基本施策	施策内容		取組状況	概 況	
5 歴史文化	4 誇りを 持って語 ることが できるふ るさと「 飛騨高 山」を めざま す	1 文化財な どの保 存・継承	2 歴史的町 並みの保 存・再生	① 伝統的建造物の修理及び非伝統的建造物の修景に対する助成等を行います。	・重要伝統的建造物群保存地区内の建物修理・修景に対する助成 伝建地区内の特定建造物の修理に対する補助80% (限度額900万円) 伝建地区内の非特定建造物の修景に対する補助80% (限度額500万円)	・修理・修景に対する補助件数 25年度 10件 事業費:39,674千円 26年度 8件 事業費:39,608千円 27年度 9件 事業費:39,830千円 28年度 7件(予定) 事業費:39,900千円	
				② 重要伝統的建造物群保存地区内の土蔵修理等に対する助成や防災設備の整備等を行います。	・重要伝統的建造物群保存地区内の土蔵の修理に対する助成 伝建地区内の土蔵修理に対する補助80% (限度額900万円) ・グループ自動火災報知器の設置等防災設備の整備	・土蔵修理に対する補助件数 25年度 2件 事業費:8,652千円 26年度 4件 事業費:26,986千円 27年度 4件 事業費:23,695千円 28年度 4件(予定) 事業費:19,900千円 グループ自動火災報知器の整備は平成19年度から取り組み、平成26年度末で設置を終了 設置済件数 234件	
			4 歴史的建 造物の環 境整備	① 伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの運用などによる歴史的建造物の耐震化工事等の支援、市有文化財の耐震化、歴史的建造物のバリアフリー化の推進、重要伝統的建造物群保存地区における建築規制の緩和の調査、検討など、歴史的建造物の住環境の維持向上を図ります。	・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの作成(H25) ・建物の改修時に合わせて耐震診断、耐震化を実施	・25年度 伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを作成 ・26年度 マニュアル実務者講習会参加者25名 ・27年度 マニュアルを活用した耐震診断5件 耐震補強工事2件 ・耐震化 市有文化財 耐震化率 4.3% 28年度 国指定「旧田中家住宅」	
			2 歴史・文化 を活用した 地域づくり	1 歴史的風 致の維持 向上	① 旧森邸跡地等に、交流拠点として飛騨高山まちの博物館と一体的に機能する施設の整備を行います。	・旧森邸等跡地の整備を実施 ①防災機能を有し、避難場所としての活用も含めた屋内外の交流スペースの整備 ②旧森邸の土蔵を修復し連続した町並み景観を形成 ③伝統芸能等の鑑賞や伝統行事、伝統工芸品の紹介、伝統文化の体験等が行える施設として整備	・26年度 事業用地(旧永井邸)購入 ・27年度 旧森邸跡地内の旧図書館本体、地下駐車場等の解体工事を実施 ・28年度 基本設計及び実施設計、既存土蔵の修理を実施 ・旧森邸概況 旧森邸 木造2階建て 延310㎡ 旧森家醤油蔵 木造平屋建て 116㎡ 旧図書館土蔵 木造2階建て 延262㎡ 交流広場 1,688㎡
		3 歴史・文化に親しみ理解する 機会の充 実	1 文化財施 設の充実	① 文化財施設の維持・改修を計画的にすすめるとともに、市有文化財(建造物、史跡等)の修理、安全対策を行います。	・飛騨高山まちの博物館、風土記の丘学習センターの管理運営 ・指定管理による文化財施設の運営(7施設) ・文化財収蔵施設の維持管理	・維持管理上必要な小規模修繕を実施 荒川家住宅 建築年代:1796年(江戸時代) 松本家住宅 建築年代:1826年(江戸時代)頃 宮地家住宅 建築年代:1875年(明治時代)以降 市政記念館 建築年代:1895年(明治時代)	
				2 郷土の歴史・文化の普及・啓発の推進	① 文化財の活用、啓発のため、指定文化財等の位置、内容等を記載した説明看板、石柱等の整備を行います。	・計画的に指定文化財の石柱、説明看板等を設置 ・既設説明看板の更新、多言語化を実施	・指定文化財石柱、説明看板設置 対象件数 427件 石柱 154件 (1本あたり 220千円) 説明看板 79件 (1本あたり 120千円)
					② 歴史街道の環境整備を行います。	・歴史街道の測量調査を実施 ・歴史街道の整備工事を実施	・測量・整備箇所件数 25年度 1件 26年度 3件 27年度 3件 28年度 1件(予定)